

各地で稲刈り体験

J Aうつのみや アグリスクール

J Aうつのみやはこのほど、宇都宮市の水田でアグリスクール「稲刈り体験」を開き、親子14組48人が参加した。

稲刈りはJ Aや姿川地区環境保全会、とちぎ青少年センターの3団体共催。全体で137人が特別栽培米「コシヒカリ」の収穫に取り組んだ。同センターによる「子どもわくわく体験教室」も開いた。

参加者は5月の田植え体験と、7月の田んぼ周りの生き物調査を経て、

自分で植えた稲の収穫を楽しみに参加した。

体験では、親子で協力しながら鎌で1株ずつ丁寧に刈り取った稲を縛る親子



刈り取った稲を縛る親子

寧に刈り取り、稲を干し草で縛って脱穀の準備をした。地元生産者の松本富男さんによるコンバインによる収穫と脱穀の実演も行われ、実際に参加者にも脱穀を体験してもらった。

稲刈りと脱穀を体験した小池亮太さん(9)は「稲を刈って、縛るのは力が必要で大変だったけど、また参加してみたい」と笑顔で話し、母の比呂呂さんは「子どもに、米がどのように作られているか知ってほしかった。参加してよかった」と話した。